※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　外国語科

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3
使用教科書	All abord! English Communication Ⅰ		
副教材等	・上記準拠の学習書		

	前期	後期
単位	2	1
レポート	6通	3通
必要出席回数	8回	4回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・レポート（前期６通、後期３通）　教科書、学習書で作成可能
・スクーリング（最低１２回）　レポート作成のヒントを得ることができる
・テスト（年間２回実施）　テスト範囲はレポートから

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・家族や学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵などを参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれた物語を読み挿絵などを参考にしながらあらすじを理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて聞き返すなどできる。 ・ゆっくりであれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や分を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、自分の気持ちなどを簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、その場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現し伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 1 Breakfast around the World Lesson 2 Australia’s Cute Quokkas Lesson 3 Life with Spade Lesson 4 A Miracle Mirror Lesson 5 Dream Engine Reading 1 Short Stories in English(1) Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period Lesson 7 A diary of Hope	聞くこと	a: 英語の音声の特徴(リズム・イントネーション)を理解している。 b: 日常的な話題(「世界の朝食」や「珍しい動物」など)について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	レポート スクーリング
		読むこと	a: 時間を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 身の回りの事柄(「世界の朝食」や「珍しい動物」等)に関する英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えている。 c: 身の回りの事柄について英語で書かれた短い説明を読んで概要を捉えようとしている。	レポート スクーリング 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 時間を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題「世界の朝食」「珍しい動物」等について、基本的な語句・文を用いて話している。 c: 日常的な話について、基本的な語句や文を用いて主体的に会話しようとしている。	スクーリング
		話すこと （発表）	a: 時間を表す語句などの意味や働きを理解している。 b: 日常的な話題「世界の朝食」「珍しい動物」等について、基本的な語句・文を用いて話している。 c: 日常的な話について、基本的な語句や文を用いて主体的に発表しようとしている。	スクーリング
		書くこと	a: 助動詞、to不定詞の形式や意味、使い方を理解している。 b: 訪れたい国等について、について、まとまりのある文章を書いている。 c: 訪れたい国等について、まとまりのある文章を書こうとしている。	レポート スクーリング 定期テスト
		聞くこと	a: 考えや意図を伝える表現(「承諾する」、「断る」等)の特徴やきまりに関する事項を理解している。 b: 日常的な話題(旅行先の検討等)に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 日常的な話題に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	レポート スクーリング
		読むこと	a: 受動態の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: ごく身近な事柄(日本文化に関する事柄) について書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: ごく身近な事柄について書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	レポート スクーリング 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 受動態を用いた文に関する英語の特徴やきまりを理解している。 b: ごく身近な事柄(日本文化に関する事柄)について簡単な語句や文を用いて話している。 c: ごく身近な事柄について簡単な語句や文を用いて会話しようとしている。	スクーリング
		話すこと （発表）	a: 受動態を用いた文に関する英語の特徴やきまりを理解している。 b: ごく身近な事柄(日本文化に関する事柄)について簡単な語句や文を用いて話している。 c: ごく身近な事柄について簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。	スクーリング
		書くこと	a: 動名詞を用いた文に関する英語の特徴やきまりを理解している。 b: 日常的な話題(学校生活や将来の夢等)について、簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 日常的な話題について簡単な語句や文を用いて書こうとしてる。	レポート スクーリング 定期テスト
	試験			
後期	Lesson 8　A Door to ta New Life Lesson 9 Ghosts in the ocean Lesson 10 Pigs from across the Sea	聞くこと	a: 関係代名詞の働きの理解を基に、社会的な話題(戦争・平和、環境等)について話された説明の内容を捉える技能を身に付けている。 b: 社会的な話題(戦争・平和、環境等)について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 社会的な話題について話された説明を聞き必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	レポート スクーリング
		読むこと	a: 関係代名詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 社会的な話題(戦争・平和等)について書かれた文章を読んで、要点を捉えている。 c: 社会的な話題について書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。	レポート スクーリング
		話すこと (やり取り)	a: 相手の意見に同意や反対する表現を理解している。 b: 社会的な話題(学校や地域をよくするために必要なこと等)について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 社会的な話題について、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合うやり取りを続けようとしている。	スクーリング
		話すこと （発表）	a: 相手の意見に同意や反対する表現を理解している。 b: 社会的な話題(学校や地域をよくするために必要なこと等)について、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 社会的な話題について、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて発表しようとしている。	スクーリング
		書くこと	a: 論理的に一貫性のある文章を書く技能を身に付けている。 b: 社会的な話題(学校や地域をよくするために必要なこと等)について、情報や考えを理由や根拠とともにまとまりのある文章を書いている。 c: 社会的な話題について、読み手に配慮しながら主体的に英語を用いて書こうとしている。	レポート スクーリング
	試験			

※　表中の観点について:a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度